

「ローカルフードサイクリング美和台」で 目指す持続可能な共助社会

活動地域  福岡県

ひろげる助成

3年目

実践

コンポスト設置総数 **90件**

65歳以上のみの
見守り世帯 **27件**

今年度計画の達成度 **100%**

全体計画の達成度 **60%**



個人ユーザー宅でのコンポスト説明の様子

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

当仕組みを今後も継続するための資金をどう分担するかを検討したが、複数の地域団体からの資金を検討したため複雑化し、地域団体への交渉・協議に時間がかかった。

■ 工夫した点

仲介役となる公民館主事に話を一度通すことで、協議がスムーズ化した。また、地域団体役員の方は高齢の方が多いため、細かい整理が必要な個所は当団体が担うこととした。

課題

対象地区は高齢化が進みコミュニケーションが希薄化。コンポスト継続も困難な方が増え、これまで循環していた住民の生ごみがふたたび廃棄物となり焼却場へ行っている。

目標

食の資源循環（コミュニティコンポストを軸とした栄養循環の仕組み：LFC）が地域で定着し、地域住民の共助の仕組みで実行される。

活動内容と成果

地域住民による当該仕組みの認知が高まり、コミュニティガーデンが住民独自の発案・計画で運営され、その活動が軌道に乗った。当団体は見守りコンポストで回収した堆肥の一部を還元し、菜園での活用法を指導し、活動のサポートを行った。現在は生産できた野菜を公民館等で販売する仕組みができています。これにより堆肥の還元農地が200m²増え、生ごみ堆肥の還元農地の活動に携わる地域住民が40人獲得できた。

また、助成期間終了後は、当団体と地域団体、ユーザーが資金・人材を分担していくことを決定した。



校区主導のコミュニティガーデンでの活動

全助成期間の活動を振り返って

見守りコンポストを運営することで、生ごみ排出削減と高齢者のコミュニケーションの機会創出を同時に実現できた。また、地域との信頼関係ができ、双方が気兼ねなく議論できる関係性が構築できた。

一方、新型コロナウイルス禍で普及がチラシ等のみとなり、高齢者にはわかりづらい仕組みだったこともあり、目標達成に至らなかった。コミュニティガーデンへの参加者は一定数獲得できているため、今後はこの層へのコンポスト普及を目指したい。



菜園で開催されたコンポスト講座の様子

今後の展望

地域団体としても、当事業で実施してきた見守り・生ごみ削減の双方の視点の取組みが地域に必要なという認識であり、見守りコンポストについては今後も資金・人材の両面で持続可能な方法を模索しながら同様の仕組みを継続する方針が決定している。しかし人材の獲得がまだ不十分なため、今後は一部を有償ボランティアでの運用を目指して地域との連携を更に強めていく。

〒811-0201
福岡県福岡市東区三苫4-4-27
電話：092-405-5217
E-mail：info@jun-namaken.com
HP：https://www.jun-namaken.com/

